

2014 年度 第 4 回 理事会報告

開催日時：2014 年 9 月 21 日（日） 13：30 ～ 16：00

開催場所：株式会社国際文献社 高田馬場会議室（東京都新宿区高田馬場 4-4-19）

I. 会長挨拶

岩田会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言（欠席理事の確認）

岩崎晋也総務担当理事より、岩田正美会長が議長となり、出席理事を確認し「定款第 43 条」に規定されている要件を充足したので「2014 年度第 4 回理事会」を開催するとの宣言があった。

欠席理事：和気純子、横山正博、倉田康路（計 3 名）

欠席監事：小林良二（計 1 名）

議事録署名人：定款第 47 条に則り、岩田正美会長、市川一宏監事、副田あけみ副会長を議事録署名人として選出した。

III. 協議事項

第 1 号議案 入会審査について

総務担当岩崎理事より配布資料及び回覧資料に基づき説明がなされた。

2014 年 7 月 20 日理事会以降の入会申込者 18 名について確認を行った。

審議の結果、今回申込者 18 名全員の入会が満場一致で承認された。

第 2 号議案 2015 年度業務委託契約について

総務担当岩崎理事より配布資料に基づき説明がなされた。

2014 年度業務委託契約書第 5 条により契約期間満了の 6 か月前に、双方解約の意思表示がない場合は自動的に契約を更新することとなっているため、検討していただきたいとの説明があった。

審議の結果、契約更新について満場一致で承認された。

第 3 号議案 2014 年度学会賞受賞者について

学会賞担当鬼崎理事から学会賞受賞候補者の提案がなされた。受賞者決定までの経緯等について資料を基に詳細な説明がなされた。

審議の結果、原案通り満場一致で承認された。

第 4 号議案 後援に関する内規制定について

総務担当岩崎理事より概要説明と提案がなされた。審議の結果、原案通り満場一致で承認された。

第 5 号議案 機関誌価格改定と消費税区分について

財務担当秋元理事より概要説明と提案がなされた。会員以外に販売している機関誌価格については現

在、2,500 円で消費税込み、送料込みとしているが、消費税増税に伴い、2,500 円で消費税別、送料込みにて 2015 年 4 月より販売していきたいという説明があった。

また、さらに学会全体の収入に関する項目についてそれぞれ消費税区分を明示する必要があることが配布資料に基づき説明がなされた。ただし不課税分を除いた金額で 1,000 万円を超えなければ課税されないため、徴収される可能性は低いと考えられる。

機関誌の価格改定については、審議の結果、原案通り満場一致で承認された。

第 6 号議案 CiNii 終了に伴う J-Stage Lite への移行について

総務担当岩崎理事より CiNii 終了に伴う J-Stage Lite への移行について提案があった。

審議の結果、J-Stage Lite への移行を進めることが満場一致で承認された。

第 7 号議案 パブリックコメント依頼に関する承諾ルールについて

総務担当岩崎理事より概要と提案。渉外担当湯澤理事より、広報委員会での審議について配布資料に基づき説明がなされた。会員から中央省庁のパブリックコメントについて周知依頼があった場合は、またその目的が社会福祉学との関連が深いと事務局担当理事（総務担当理事、財務担当理事）が判断した場合に、掲載するというルールが提案された。

審議の結果、原案通り満場一致で承認された。

IV. 報告事項

1. 登記手続きについて

（株）国際文献社・平井より手続き終了の報告があった。住所変更登記手続きは 2014 年 7 月 30 日に完了し、役員変更登記手続きは 2014 年 9 月 19 日に完了した。

2. 2014 年度業務委託契約について

財務担当秋元理事より配布資料に基づき説明がなされた。今年度の業務委託費支払い方法について、国際文献社と協議し、基本的に、6 月末に 1/2、9 月・12 月・3 月末に 1/6 ずつ支払うこととした。

3. 大会抄録集の電子ファイル化について

総務担当岩崎理事より概要説明があった。現在、1992 年度開催以前の抄録集は電子化されていないので、記録を学会に保存するという観点から電子化することを検討した。検討の結果、今回の電子ファイル化については、内容について現在の学会の倫理基準に照らすと問題がある抄録も存在する可能性があり、公開前提でなく、保存と研究利用を目的として電子化することが確認され、公開方法については今後事務局にて検討し、再度理事会にて諮ることとした。

4. 後援依頼について

総務担当岩崎理事より報告。公益財団ユニバーサル財団“日韓こころの交流”シンポジウムに対する後援依頼について承諾した。

5. 大会運営委員会から報告

<第 62 回秋季大会>

増田大会運営委員より配布資料の通り、参加申込、発表申込、広告及び出展申込のそれぞれの状況について報告があった。

<社会福祉学会フォーラムの開催について>

原田理事より報告がなされた。日程は2015年2月8日(日)、テーマは「地域包括ケアシステムの構築にむけた論点」で決定した。

6. 国際学术交流促進委員会より報告

国際交流担当黒木理事より配布資料に基づき、現在の活動状況について報告がなされた。

7. 広報委員会から報告

広報担当湯澤理事より配布資料に基づき報告があった。8月27日にホームページリニューアル公開がなされた。ホームページのうち、地方部会のページについては、今後、共通項目を設定して編集する予定。現在、学会ニュース67号発行に向けて準備中である。

8. 機関誌編集委員会より報告

編集担当柴田理事より配布資料に基づき報告があった。9月28日に編集委員会開催予定であることが申し添えられた。

9. 各ブロックからの報告

まず、副田委員長から趣旨説明があった。地域ブロックの担当者より、地域ブロックの活動について、本部の運営委員会や理事会で報告し、活動について広く認識していただきたいとの意見を受け、運営委員会で提案し、直前ではあったが、各ブロックの報告を求めた。今後は各地域ブロックからの報告を定例事項とすることも報告された。

北海道ブロック：松本理事より報告。

東北ブロック：都築理事より報告。7月21日に大会を開催し、テーマは東北の格差問題だった。東北ブロックは、自由研究発表をした方に、機関誌への投稿資格を付与。今年発表者に投稿呼びかけ中。

関東ブロック：高山理事より報告。

中部ブロック：柴田理事より報告。

関西ブロック：松端理事より報告。下半期に行事が集中。理事会を10月14日に開催予定。

中国・四国ブロック：横山理事欠席のため、副田副会長より資料に基づき代理で報告。

九州ブロック：倉田理事欠席のため、副田副会長より資料に基づき代理で報告。

10. その他

副田副会長より、日本社会福祉系学会連合のシンポジウムについて報告があった。2014年9月20日に東洋大学福祉社会開発研究センターとの共催にて開催され、30名程度の参加者があり、好評を得た。また災害福祉アーカイブも引き続き行っている。

議長は、議事終了を告げ、16時00分 理事会を解散した。

以上